

エネルギー分野における
「今後さらに取り組むべき課題」について

平成25年12月12日
エネルギー戦略協議会事務局
座長 柏木 孝夫

今後さらに取り組むべき課題について（１）

「グリーンで経済的なエネルギーシステムの実現」に向けて、特に再生可能エネルギーをはじめとする多様なエネルギー源の導入や、技術の海外展開の促進が必要との認識が示された。これにもとづき、以下３点の提案があった。

●全体を俯瞰するグランドデザインの策定と補完する技術開発の促進

- － 府省連携をより深めるため、府省間で共有する出口戦略や達成目標が必要。
 - － さらに技術の社会実装のためには“主な取組”を単独で検討するのではなく、エネルギーの生産・流通・消費それぞれの段階で必要となる技術をトータルで検討し、技術開発を促進することが必要。
- （例）再生可能エネルギーの安定供給のため電力システムの調整技術や送電技術をトータルで検討する 等

今後さらに取り組むべき課題について（２）

●技術の展開に係る政策的アプローチを含むパッケージ化

- － 技術の普及展開のためには、需要家のニーズ・思考をくみ取る社会学的視点や、トップランナー制度などの政策的アプローチが重要。
- － 特に技術の海外展開にあたっては、標準化や規制への対応などを含むパッケージでのアプローチを、実施主体間での連携のうえ進めることが重要。
（例）海外へのスマートグリッド技術の展開に向けた標準化の取組との連携 等

●具体的に提案のあった取り組み・課題

- － E M S や火力発電の低負荷運転時の高効率化など、再生可能エネルギーの導入量が増加した際における電力システムの需給調整のための技術を課題とすべき。
- － 低温排熱の有効利用技術を課題とすべき。
- － 生産プロセス技術について、省エネルギーだけでなく省資源化技術を課題とすべき。
- － 地球温暖化を緩和する取り組みについても、エネルギー技術とセットで検討すべき。
（環境WGとの連携が必要）